

# かさおか

発行所

天理教笠岡大教会

かさおか編集掛  
笠岡市用之江377  
郵便番号714-0066  
(0865)

電話 66-1311  
FAX 66-1314



## 興明分教会

玄関左側の建物には御分家の中山玉千代様(二代真柱様姉君)がお泊まりになられた。教会の前を走るのは旧国道30号線。

立教179年  
6月号

## 少年会創立50周年

## 縦の伝道講習会

5月月次祭

少年会

少年会笠岡団(武内正美団長)は5月21日、橋本武長先生(少年会本部委員)を講師に迎え、大教会5月月次祭後に「少年会創立50周年 縦の伝道講習会」を開催。役員、部内教会長、よふぼく、信者ら多数が受講した。

「天理教少年会」の創立50周年という節目の年にあたり、少年会誕生の意義を学び直し、縦の伝道の機運を高めていく上から、全直属団において開催されるもの。また、地域活動の内容充実へ向かい、全教区団へは巡回が実施されている。講話要旨は次の通り。

創立50周年を迎える大きな旬に、二代真柱様の創立の思召しを訪ね、親から子へ信仰を繋ぐ、「縦の伝道」の重要性と、少年会の役割を改めて確認しなおし、思召しにお応えできるよう、心を揃えて子供たちを立派なようぼくへ育てる決意を共にさせていただきました

い。

二代真柱様は、早くから道の後継者育成について心を砕かれ、「宗教教育の徹底」を打ち出され、小さな自分から信仰的な考え方が習慣として身に付けられるようにしつけ、自分も道の後継者であるという自覚できる「縦の伝道」を進める会合の設立を示唆され、昭和41年10月26日、少年会が誕生しました。そして、翌年の年頭会議の中で、親の信仰を、喜びを我が子に伝えることが大切なんだ、そのためにどれだけの骨折りをしてきたかと考えた時、まだまだ不十分ではないか、忙しいことを言い訳にしてまだまだ努力することがあることを諭され、「一面に於いて、世界の隅々まで手に手をとって、道具衆であるところの勤めを果たす。一面に於いて、個人的には、我が子に自分の喜びを伝える。子供に対しての時と、信者に対しての時の気持ちと、違った気持ちでものを言うようでは、神一条の心とは言えないのであります。」と、常に一貫して真剣に、教え導く大切さをお話し下さいました。

それでは、信仰の喜びとはどんなことなのでしょう。これは、親神様の御守護、教祖の親心、から湧き上が

る感謝、喜びであります。普段、当たり前に思っていることが、ご守護なんだと感じることができれば、どれほど大きな財産になるか分りません。私の家の信仰ですが、当時の流行病で夫を亡くした初代が、同じ病で悩んでいた時、布教師から匂いがかかり、その後、別科、単独布教へ出るなど熱心に信仰の道を歩みました。その信仰を受け継いだのが祖父ですが、はじめから親子で歩んだ道ではなく、母と離れ、兄弟も早く亡くし、一人で暮らしましたが、天理外国語学校創設という旬に、おちばに引き寄せていただきました。そして、かんろだいの前で、自分自身の身上的鮮やかな御守護をお見せいただき、全てを納消し、外語へ入学したという話が残っております。しかしながら、その年の夏、38歳で初代は出直しています。私はこのことに疑問をもっていました。ある時叔父が、初代を偲ばれた時があり、「初代はきつと、息子をお道に繋ぐことができて、安心して出直したんじゃないかと思う。」と聞かせていただきました。「たんのう」と、晴れた気がしました。「たんのう」と、何より初代の信仰の喜びが映っていたと思うのです。短命の一家にあつて、

一人になった祖父ですが、信仰のおかげで結構な姿をお見せいただき、親から子へ、子から孫へと、信仰の喜びを伝え続けてくれたからこそ、今があるのだと実感します。

逸話篇に、「神様はなあ、『親にいんねんつけて、子の出て来るのを、神が待ち受けている。』と、おっしゃりませぬで。それで、一代より二代、二代より三代と理が深くなるねで。理が深くなつて、末代の理になるのやで。人々の心の理によつて、一代の者もあれば、二代三代の者もある。又、末代の者もある。理が続いて、悪いんねんの者でも白いんねんになるねで。」とお聞かせ下さいます。その人はもちろんのこと、子供、孫になる者までも見通して、代々信仰が伝わることをお望みになり、神様は陽気暮らしがお望みであります。それを一代でなんとかせよというていいるのではなく、代を重ねて、理を深めて、成し遂げなさいというていいるのだと思うのです。子供に信仰の喜びを伝える縦の伝道を担っているのは親であり、普段の暮らしの中で身近な手本となり、導いていくのは親であります。しかし、年齢によつては親の言うことを素直に聞くことができない



御講話下さる橋本武長先生

き、陽気ぐらしの味わえる、立派なようぼくに導くという少年会の使命をお示しくございました。

時期もあり、「朱に交われば赤くなる」の如く、家庭以外でどのような人と接していくのか心配であり、価値観が多様化している時代にあつて、少年会活動の重要性は更に増しています。

二代真柱様は、第一回団長講習会の中で、「少年会の皆さんに対する根本の問題は親に代わって、親の喜びを子供に伝える役割を果たして頂きたい、という一言に尽きるのであります。縦の伝道にややもすれば、手ばかりになる、それを皆の力によって補つていくという点であります。」とお話下さいました。親の手の届かないところを皆で助け合い、教えが習慣となるよう導

促し下さいました。加えて、少年会創立50周年の旬、これはどうでも賑やかに勤めさせていただきたいと思わずにはいられません。又、本年の活動目標を、「帰参する少年会員の大増員」としました。おちばがえりは、お道を通る者にとつて大切な信仰実践です。おちばで直接親の息をかけていただき、楽しかったこと以上のものを、子供たちに持ち帰ってもらい、魂に、何か特別なしるしを付けていただくと信じています。また、引き続き真柱様は、「今は年端のいかぬ子供であつても、10年、20年、30年先を見据えて真実を尽くして伝える信仰の喜びは、必ず子供たちのなかに残り、いずれようぼくという立派な実を結ぶご守護をいただく糧となると思います。」とお話下さいました。教祖130年祭を勤

ある子供たちを我が子同様に立派なようぼくへと、誠実の心で一手一つに育てていくことを、お互いに御存命の教祖にお誓い申し上げたいと存じます。

《以上、要約》

## ひのきしん団参実施

青年会

め終えたこの旬に、真柱様の思召しにお応えできるよう、責任もつて我が子、我が孫に陽気ぐらしの教えを繋いでいく決意を新たにすると共に、育成者という自覚をもつて、道に縁

5月29日、青年会笠岡分会(上原明勇委員長)は、毎年恒例のひのきしん団参を実施。教会、家族ぐるみで、50人が参加し、ひのきしんに汗を流した。この日は、詰所のペランダの洗浄、窓拭き、毛布のえり外しを分かれて行い、こどもおちばがえり前の詰所が綺麗になった。(青年会副委員長 上原繁次)

真柱様は少年会幹部会で、「今年のこともおちばがえりは、年号ではなく教祖130年祭と冠してあります。子供たちにとつて教祖130年祭のこどもおちばがえりであります。」そして、「おやさ」とに仲良く集う大勢の子供たちの姿を教祖に御覧いただき、お喜びいただきたいと願つてやみません。」と奮起を

め終えたこの旬に、真柱様の思召しにお応えできるよう、責任もつて我が子、我が孫に陽気ぐらしの教えを繋いでいく決意を新たにすると共に、育成者という自覚をもつて、道に縁



ひのきしんに励む  
青年会員・少年会員



迫力満点のバッティングフォーム

晴天の中、感謝一杯のプレー  
第10回 大教会長杯親睦スポーツ大会

5月22日、毎年恒例の「大教会長杯親睦スポーツ大会」が、笠岡市の茂平グラウンドで開催された。  
今回で10回目を迎えたこの大会。爽やかな晴天の下、教会、家族ぐるみで150人が参加し、ソフトボールに汗を流した。試合は、7チームを二つに分け、午前中はコート毎に予選を実施。午後からは、順位決定戦を行った。



大教会長様を囲んで記念写真

どの試合も、はつらつとした好プレー、珍プレーが見られ、同じ笠岡に繋がる

者同士の親睦を深めた。

また昼には、婦人会の方々によるカレ、有志によるかき氷が振る舞われ、和やかなひと時となった。

最終順位は、次の通り。

- 優勝・上下、準優勝・西&府中市、3位・福山、4位・大教会、5位・直轄、6位(大教会長賞)・高屋&金浦分、7位・久松。
- (実行委員 上原繁次)



ありがたかったなあ

真金分教会 猪原有理

今年一月、修養科に行くことと心定めが出来たのは、昨年娘が修養科を修了し「行くのなら早い方が」の一声があったからです。

私は二回目、主人の身上で車椅子の生活です。脳出血後遺症で右半身麻痺の状態です。一人では何もできません。とにかく三ヶ月おちばにおいて頂いて、それだけでもありがたいという思いでした。志願理由もここまでご守護頂いたお礼にの思いでしたが、いつ

しかひのきしんの出来る手足になり、だんだんと人様におたすけをさせて頂きたいと教祖にお願いする様になりました。おちばでの伏せ込みで教祖にお喜び頂くためには、人だすけ、ひのきしん、自らが喜ぶ姿勢だと思い毎日声をかけおさづけをさせて頂きました。心定めをすると必ず出会わせて頂くのが不思議です。修養科でのご縁、三ヶ月お世話になった教養掛の先生、一緒に過ごした仲間、みんな出会うべき人だったなと思います。見せて頂く身上、事情、共に神様にお願ひさせて頂きおたすけ心で関わらせて頂きました。今までの自分を振り返ると、自分が行った事に対して何かお礼を言ってもらいたいとか、認めてもらいたいという自分かわいいのほこりが強いなと改めて感じました。低い心で通る姿勢、相手の話しを聞く姿勢、頭を下げる姿勢でほこりを払わせて頂いていると思います。今が私の信仰の元一日だと思えます。親々が通ってくれた信仰のおかげで気づかせて頂き、次の世代の道を今しつかり種を蒔いていきたいと思えます。修養科は心を磨ける所だな。新たな気持ちで神様のご用をさせて頂きたいと思えます。

立教百七十九年 五月月次祭 祭典役割表

胡弓	三味線	琴	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	ちゃんぽん	笛	おとめ				地			役割 区分	講話	祭主			
									てをどり	おとめ	大	上	岡	大	浅			門	中	扨者	祭主
今川佐智子	佐藤香苗	虫明好美	中村義太郎	森本忠平	谷内伸自	上原志郎	笹尾正治	高木昭祥	門脇郁子	田中ますみ	大教会奥様	上原繁道	岡本久善	大教会長様	浅野明教	門脇元教	中村邦義	縦の伝道講習会	上原志郎	門脇元教	大教会長様
門脇加津	武内正美	谷内美知子	赤木素志	浅野明教	吉岡誠一郎	上原浩	山野弘実	森本忠善	森本富美子	内海安子	上原順彦	今川昌彦	岡崎真一	中村剛	渡邊隆夫	中村道徳	吉岡壽	七月講話	指図方	賛者	
岡崎和美	高木孝子	笹尾立美	虫明敏生	山田真孝	佐藤久嗣	田林久嗣	内海史郎	上原繁次	室悦子	横山小智榮	岡崎豊子	三島博之	杉原博之	中村邦義	横山逸郎	田中隆之	佐藤道孝	田中隆之	吉岡壽	浅野明教	高木昭祥

## 教祖130年祭こどもおちばがえり

 天理教少年会は、本年創立50周年を迎えます。



### お知らせ

インターネットを利用して日程計画書を作成し申し込むことができます。

インターネットによる申し込みを利用される場合は、教会IDが必要です。「教会ID発行依頼書」をダウンロードし、少年会本部(帰参報告・行事受付係)まで提出してください。

- ・教会ID受付期間は、3月26日より7月10日までです。
- ・郵送、FAX(0743-63-4625)でも受け付けます。
- ・取得できるIDは、1教会につき1つです。

※昨年までにIDを取得された教会はそのIDを継続してお使いください。

依頼書受理から約1週間で、「教会ID・パスワード」を記載した書類を教会宛に発送します。



[▶▶ 詳しくはこちらへ](#)

[▶▶ ダウンロード](#)

<http://www.tenrikyo-shonenkai.org/KOG/index.html>



## 五月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいませ

親神天理王命の御前に 会長上原理一慎んで申し上げます

親神様には 一れつ子供がかわいい親心のまに／＼天然自然の御守護を賜りお育て下さっているばかりでなく 夫々の成人に応じ身上事情を通して陽気ぐらしへとお導き下さっております事は誠に有難い極みでございます 私共はかしものかりものに感謝し成って来る理を思索して思召に添えるよう日々恙なく生活させて頂いております中にも御恩報じを思い念じて朝夕に御礼申し上げ 届かぬながらも身近なところから出来る精一杯のたすけ一条の歩みを進めさせて頂いております 分けても今日の吉日はこの五月の月次祭を執り行う日柄でございますので 只今からおつとめ奉仕人一同 喜び心たすけ心も一人に明るく陽気に勇んで坐りづとめてをどりをつとめさせて頂きま す 御前には今日の日を楽しみに心明るく寄り集いました道の子供達が 同じ思いに伏し拝み 変わらぬ親心にお縋りする皆の状を御覧下さいまして親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます。

さて熊本地震を通して皆のたすけ合いの心をお育て下さいましたが お望みは非常の際のたすけ心もさる事ながら常時のたすけ心にある事を思索しなければならぬと思ひます その為には今だけでなく過去を知り長い将来を見据えた今の有り方でなければなりません しつかり思索し一人でも多くの人に親神様の御守護の有り難さ 教祖のお働きの大切さを伝えて行きたいと思ひます 取り分け高齢化社会にあつて犯罪の高齢化が進む今日 人生の目標である高齢者は元より その目標に向かう若者にもをいかけおたすけをして行く所存でございます

又先日的全教一斉ひのきしんデーには晴天の御守護を賜り誠に有難うございました お陰で皆勇んでひのきしんの汗を流す事が出来ました 更には又本日は縦の伝道講習会を開催させて頂きます 子供に信仰を伝えていく事の大切さに気付かせて貰うと共に 今年のこともおちばがえりに一人でも多くの子供達に参加をして貰うべく親にも子供にも参加の声掛けをして貰えるよう徹底をして行く所存でございます

何卒親神様には 年祭のこの年 教祖に少しでもお喜び頂きお働き頂けるようたすけ一条に励む皆の誠真実の心をお受け取り下さいまして 願う心の誠の理に日々の御守護をお現し下さり 御恩報じを願いたすけ一条に邁進する人が増して お望み下さる陽気ぐらしの世の状に一日も早くお導き下さいますよう 一同と共に慎んでお願い申し上げます

## こころの詩

笠岡の教友が選ばれ掲載されてきましたので転載いたします。(敬称略)

### ▼『天理時報』

▽5月29日付「時報俳壇」

・備中◎ 塩飽利子さん

もてなしのごと緑陰に床几しょうぎかな

▽6月12日付「時報歌壇」

・海松ヶ岡◎ 池田広子さん

瀬戸内の走り御輿を見るために

県外びとも港に集う

・福満◎ 福島悦子さん

総会にスナックえんどう背負いゆく

難聴協の友にあげんと

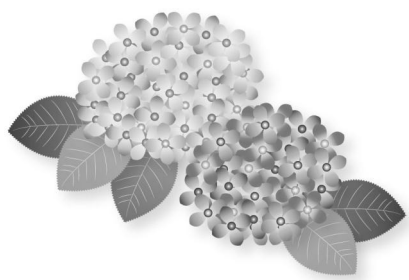
・芦品◎ 金谷眞佐代さん

晴れやかに老いも若きもひのきしん

幼い子らがこころうさんと

### ▼表紙写真

(興明分教会提供)



### 第74回 笠岡大教会 英語講習会

ネイティブスピーカーと英語を楽しもう！

- 会場** ・井原市社会福祉協議会芳井支所（7日 夕刻まで）  
 （岡山県井原市芳井町吉井4103-2 ☎0866-72-1366）  
 ・笠岡大教会
- 日程** 平成28年8月7日（日）～8日（月）（1泊2日）  
 ・8月7日 8：30 大教会 集合・受付  
 出発（マイクロバス、ワゴン車）  
 9：00 芳井支所 集合（駐車場：芳井小学校）  
 ・8月8日 15：00頃 大教会 解散
- 内容** 外国人ゲストと楽しむ英会話、目標別によるクラス分け、授業、テーブルマナー、宝さがし、ゲストによる講話、宿題をする時間、英語スキット、布教英会話など
- 対象** 小学4年生以上の学生、青年・女子青年層～大人
- 募集人員** 30人程度
- 参加費** 1,500円
- 応募期間** 平成28年7月31日まで

## 大教会だより

### ◎第89期修養料

自 立教179年3月2日  
 至 立教179年5月27日

三ヶ月間 中島 誠治  
 （大教会役員）

一ヶ月目 丸山 正人  
 （木津和分教会会長）

二ヶ月目 福島 大介  
 （福満分教会会長）

三ヶ月目 高橋 徳行  
 （亀田山分教会会長）

### \*修了者

真 稲 真  
 金 瀬 金  
 猪 三 猪  
 原 宅 原 英之  
 有 聖  
 理 聖



5月、岡山県内のある教会を訪ねた。25年ほど前、一度、行ったことがあるが、どこをどう通ったのか全く覚えて

いない。不安な私の思いを察してか、会長さんが教会までの地図を届けて下さった。B5判、15ページの大作。

この会長さん、上に〇〇がつくほど親切で几帳面な人。地図には方向によって矢印が付けられ、要所には写真まであり、1ページ目から15ページまで辿つていくと教会に到着するという物。距離、約60km、所要時間、1時間半ほど。

出発の日、念の為にカーナビも目的地にセット。地図を見ながら快調なスタート。ところが途中で、カーナビが地図と違う指示を出したのだ。1回目は「まあいいか」と聞き流したが、また違う指示をする。

車を道端に止めて考えた。カーナビも最近はかなり正確だ。約束の時間があるので、迷ったら大変だ。

結果、地図通りに行くことにした。会長さんは一か月に何回も、そして何年も通っているのだからーと。

最終ページの写真と実物が一致した。ホッとした。時間も守れた。教会に帰り、地図を見ながらカーナビの指示した道を調べた。かなりの遠回りだった。

「カーナビに頼らず、会長さんの心がこもった地図の『カミ』を信じて良かった」

お粗末でした。

(あ)

